

番組審議会議事録(平成27年5月12日開催)

1. 開催年月日

平成27年5月12日 午後7時～

2. 開催場所

(株)登米コミュニティエフエム 会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 7名(本人出席3名、委任状出席4名)

出席委員の氏名 佐藤寛一、加藤和子、須齋香織、

委任状出席委員の氏名 塚本壽、永浦貞志、奥山浄啓、嶋村幸二

欠席委員の氏名 堀田菜菜江

新任委員候補として 佐藤辰哉

放送事業者側出席者名 斉藤恵一

4. 議題

(1) 委員新任・再任の件について

(2) 以下の内容に関する審議

・「ラジオから伝えたい想い」東日本臨災 FM ネットワーク制作

(3) その他

5. 議事の概要

(1) 期間満了による、委員の新任・再任の件について

(2) 毎週木曜11:30～(再:金曜18:49～)放送、東日本臨災FMネットワーク制作「ラジオから伝えたい想い」(Vol.1)を試聴してもらい審議した。

(3) その他

6. 審議内容

(1) に関して

斉藤局長から、期間満了と共に4人の委員から辞任の意向が示された。これを承諾すると共に、委員数を5名と変更したい旨の説明があり、審議の結果、全員一致でこれを承認した。

続いて、佐藤、加藤、須齋、堀田委員の再任と、新委員として佐藤辰哉氏の就任を提案。全員一致でこれを承認した。

辞任により委員長空席のため、新委員長を選出。堀田副委員長が委員長に推薦された。また副委員長には加藤和子委員、須齋香織委員が推薦され、両氏はこれを承諾した。堀田菜葉江委員が欠席のため、堀田氏の委員長就任は次回正式にお願いすることとした。

(2) に関して

(全委員) 各地での実話をきめ細かく放送することは、地域のラジオ局の役割。非常に良い取り組みだ。

(加藤委員) 放送を聞いて、当時のことを思い出した。自分自身も含め、聞いた人の風化防止にもつながる。もっと知りたいので、10分では短いのでは？

(齊藤局長) 大手メディアでは取り上げきれない細かな事にスポットを当てながら、何年も続く息の長い番組にしていきたい。また、各局の放送スケジュールを考え10分とした。

(佐藤寛一委員) 共助公助の大切さをよく捉えている。他の地域に発信することで、減災につながるのでは。

(須齋委員) もし他の地域で災害が発生した時に、助けになるのは「隣人」であると知ってもらえることができ、とても意義のある番組。

(佐藤委員) 震災時にはラジオから得られる情報で助けられた。これからも地域のために頑張ってもらいたい。

(3) に関して

その他、特になし

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

社内会議にて報告(平成27年4月13日)

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

ホーム・ページにて意見の公開(平成27年5月下旬)